

【地域活性化総合特区】先導的な地域医療の活性化(ライフイノベーション)総合特区

〔徳島県〕(平成24~29年度)

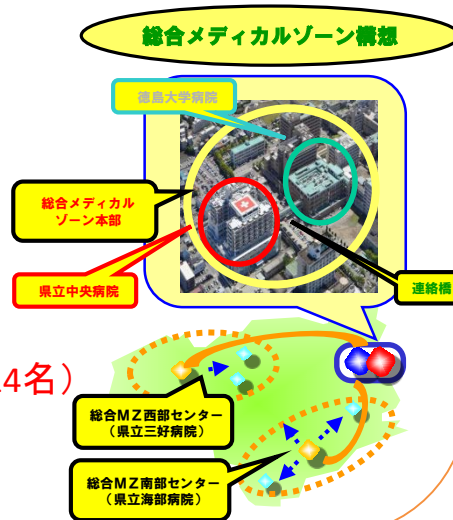
目標①：地域医療の再生

「地域偏在・診療科偏在による医師不足」の解決モデル確立

⇒ 地域医療の再生モデルの構築

【取組概要(数値目標)】

- ・総合メディカルゾーン構想
- ・徳島大学寄附講座設置事業
(5講座の維持継続)
- ・医師修学資金貸与事業
(貸与者数H23:35名→H30:114名)
- ・遠隔医療の促進



目標②：糖尿病の克服

産学民官が一体となった取組を促進

⇒ 糖尿病克服モデルを国内外に発信

【取組概要(数値目標)】

- ・とくしま「健幸」イノベーション構想
- ・県民総ぐるみの対策推進
(糖尿病患者数 12%削減 H20→H29)
(栄養指導導入医療機関数 H20:8施設→H30:25施設)
(糖尿病連携手帳を活用している医療機関数
H25:131施設→H30:150施設)
- ・糖尿病等対象の医療観光推進
(外国人宿泊者数 H21:12,560名→H30:80,000名)



特区における効果 (H29実績)

- 両病院間での患者搬送や医療従事者の相互交流に寄与。
- 寄附講座設置事業(6講座設置)、修学資金貸与事業(年間12名に貸与・累計106名)等に取り組により、医療従事者の養成・確保に寄与。
- 産学民官の連携、管理栄養指導、糖尿病連携手帳の活用(202施設)等の取組により、3年連続で糖尿病死亡率全国ワーストワンから脱却。